

令和7年第2回三芳町議会定例会 一般質問通告書  
 質問順序・質問者及び質問要旨

順序	質問者	質問要旨	質問内容	質問の相手
1	桃園 典子	1 脱炭素へ向けたリサイクル促進について	1) 雑紙回収によるリサイクルについて ①三芳町一般廃棄物処理基本計画について ア リサイクル目標の達成状況は イ 資源化対象ごみの中で家庭からの排出量が最も多い紙類の資源化のために現在取り組んでいることは ウ ごみの減量やリサイクル促進のための新規事業とあるが紙類に関するものは エ 紙類ごみ削減に向けた今後の取り組みは ②雑紙回収促進のために福岡市の取り組みのように「雑紙リサイクル袋」を配布しリサイクルを促進しては 2) ペットボトルキャップ回収によるリサイクルについて ①令和6年の産業祭においてエコキャップ回収でSDGsをアピールされたが、効果をどう捉えているか ②令和4年4月施行プラスチック資源循環促進法に伴う町事業の取り組みに変化はあったか ③令和6年度プラスチックの資源循環に関する先進的モデル形成支援事業に三郷市のペットボトルキャップの拠点分別回収・リサイクル・再商品化の事業が採択されたが、この事業についての町の見解は ④住民全体でペットボトルキャップの回収を実施し、リサイクル促進に取り組んではどうか ア 役場や学校等の公共施設に回収箱の設置 イ リサイクル事業者による出前授業の実施	町長 環境課
		2 フレイル予防に資する高齢者eスポーツ	1) 町がフレイル予防として取り組んでいる事業は 2) フレイルチェック会でのデータは町の健	政策推進室 環境課 健康増進課



			<p>①投票する際支援が必要な方のために富士見市のような「投票支援リーフレット」を作成し活用してはどうか</p> <p>②視覚障害のある方のサポートとして「投票用紙記名補助具」を導入してはどうか</p> <p>③オンデマンド型移動投票所を導入してはどうか</p>	
2	菊地 浩二	1 DXで住民サービス向上と業務効率化・負担軽減	<p>1) マイナンバー導入での業務効率化については令和5年3月定例会での一般質問答弁で、今後町全体として業務の効率化を図っていきたいという答弁があったが、2年経って効率化・事務負担軽減は進んでいるか</p> <p>2) 現在、三芳町ではマイナンバーカードを利用してコンビニ交付できる証明書は限定的だが、今後のコンビニ交付の見通しは（例：戸籍関係、所得証明等関係）</p> <p>3) 引越ワンストップサービスにより、住民、職員にどのような効果があるか</p> <p>4) 三芳町行政のなかで引越ワンストップサービス以外でマイナンバーにより効率化・事務負担が軽減された事業は</p> <p>5) 三芳町では「書かない」「待たない」「回らない」の窓口サービスは進められているか</p> <p>6) 法改正やオンライン化により「行かない役場」の考えは</p> <p>7) 民間事業者が提供する「クラウド型電子契約サービス」の活用</p> <p>①現在のクラウド型電子契約サービスの活用状況は</p> <p>②電子契約でどのようにセキュリティ対策をおこなっているか</p> <p>③契約内容の改ざんにはどのように対応しているか</p> <p>④今後は書面化義務のある契約以外は全庁的に電子契約への移行をすすめるか</p> <p>⑤過去に契約事務手続きで不備があったが、電子契約においてどのようにチェック体制をつくっていくか</p> <p>8) DXの活用により「書かない窓口、行かない役場」及び職員の事務の効率化・負</p>	<p>政策推進室</p> <p>住民課 税務課</p> <p>住民課</p> <p>政策推進室</p> <p>政策推進室 住民課</p> <p>財政デジタル推進課 施設マネジメント課</p> <p>町長 政策推進室</p>

		2 国の交付金による学校給食費の保護者負担無償化を行った効果	<p>担軽減をどのように考えているか</p> <p>1) 令和4年度3学期、令和5年度2・3学期に保護者の所得に関係なく、全児童生徒を対象とした給食費の保護者負担無償化を行った</p> <p>①目的は</p> <p>②その目的に対して数値目標や指標の設定はあったか</p> <p>③児童生徒や保護者及び教職員からはどのような評価だったか</p> <p>2) 給食費の保護者負担無償化の期間、給食の質や量に変化はあったか</p> <p>3) 町内産野菜の活用や食品ロスの削減など給食を通じた食育をどのように考えているか</p> <p>4) これまでの給食費の保護者負担無償化による効果（成果）をどのように検証しているか</p> <p>5) 給食費の保護者負担無償化が進むことで、子どもの学校生活や学力向上にどのような影響があると考えているか</p> <p>6) 児童生徒や保護者から今後の給食費の保護者負担無償化に関して意見を聴く機会を設けるか</p> <p>7) 給食費の保護者負担無償化に関してこれまでどのような調査研究をしてきたか</p> <p>8) 学校給食費は現行のままが良いか、保護者負担を無くす、あるいは軽減する方が良いか</p>	<p>学校教育課</p> <p>給食センター</p> <p>学校教育課</p> <p>教育長</p>
3	小松 伸介	1 火災対策について	<p>1) 当町での火災被害等について</p> <p>①火災発生状況及び被害状況は（過去3年間）</p> <p>②火災発生危険箇所の発見に努めているか</p> <p>③年始に北永井で発生した火災の状況は</p> <p>④町としてどのような支援が行われたか</p> <p>⑤罹災ゴミの対応はどのように行われたか</p> <p>⑥被災された方への減免制度は</p> <p>2) 公共施設等における防火対策状況について</p> <p>①屋外・屋内消火栓は町内に何箇所存在するか</p> <p>②消火栓の設置基準は</p>	<p>自治安心課</p> <p>環境課</p> <p>税務課</p> <p>自治安心課</p>

		<p>2 道路陥没対策について</p>	<p>③消火栓や防火水槽等、適正に配置されているか  ④消火栓ホースの耐圧試験実施や点検、更新等、適切に行われているか  ⑤劣化や破損等で使用が困難な場合はあったか  ⑥三芳町地域防災計画にある「火災発生原因の制御」の実施は  ⑦町道等に点在する消火器の管理及び運用状況は</p> <p>3) 民間事業者等における防火対策状況について</p> <p>①防災計画にある「消防用設備等の整備、維持管理」は実施されているか  ②消火栓ホースの耐圧試験実施や点検、更新等、適切に行われているか  ③防災計画にある「火災発生原因の制御」の実施は</p> <p>4) 今後の対策や被災者支援等について</p> <p>①防火意識向上のため行われている施策は  ②効果や課題、改善点をどのように捉えているか  ③「民間防火防災組織等の育成強化」をどう図るか  ④消火栓を使用した初期消火訓練の実施は  ⑤被災者支援のためハンドブックを作成しては  ⑥被災者支援物資の内容について充実が図れないか  ⑦被災者支援として住居の提供を検討出来ないか  ⑧罹災ゴミの対応について被災者に寄り添った支援が出来ないか</p> <p>1) 現状について</p> <p>①以前行った調査で指摘された部分のその後の状況は  ②調査を行った地点以外で空洞化が見られた事は  ③町が考える陥没危険箇所は何箇所存在するか</p> <p>2) 八潮市での事故を受けて</p>	<p>町長 福祉課</p> <p>町長 自治安心課</p> <p>町長 環境課</p> <p>道路交通課</p> <p>上下水道課</p>
--	--	---------------------	--	---





		<p>2 不登校児童・生徒への支援と「学区のない学校」の可能性について</p>	<p>題はないか</p> <p>2) 低所得世帯・ひとり親世帯への支援の考え方について</p> <p>①就学援助制度の対象となる世帯には制服代の補助があるが、その支援額は実際の購入費用に見合っているか</p> <p>②ひとり親世帯への支援は就学援助制度のみだが、他に検討されている支援策はあるか</p> <p>3) ボーダー世帯への支援の必要性について</p> <p>①収入が就学援助の基準をわずかに超え、制度の対象外となる世帯（ボーダー世帯）の状況を把握しているか</p> <p>②ボーダー世帯に対する支援策について、町としてはどの様に考えているか</p> <p>③他自治体の事例を参考に、本町においても制服購入費用の補助対象を拡充する考えはあるか</p> <p>4) 今後の支援の方向性について</p> <p>①物価高騰が続く中、制服の購入費用負担が大きくなっている現状を踏まえ、町として新たな支援策を検討する考えはあるか</p> <p>②家庭の負担を軽減するための施策を検討しては</p> <p>1) 三芳町における不登校の現状と支援策の検証について</p> <p>①町内の小中学校における不登校児童・生徒の人数とその推移をどのように把握しているか</p> <p>②町として、不登校の増加要因をどのように把握しているか</p> <p>③校内支援体制は、不登校児童・生徒にとって十分なものとなっているか現状の課題と改善策について考えは</p> <p>④不登校児童・生徒の学びの選択肢を増やすために、学校外の学習支援機関（フリースクールやオンライン学習）との連携を進める考えはあるか</p> <p>2) 「学区のない学校」の導入の可能性について</p> <p>①全国の自治体では「学区のない学校（フ</p>	<p>町長 教育長 教育センター</p>
--	--	---	--	------------------------------

		<p>3 特別支援教育の充実について</p>	<p>リースクール型の公立校)」を設置する事例があるが三芳町においてもその可能性を検討できないか</p> <p>②学区を固定せず、児童・生徒が自由に学校を選択できる仕組みを導入することで、不登校児童・生徒が通いやすい環境を整備できないか</p> <p>1) 三芳町における特別支援教育の現状と課題について</p> <p>①町内の特別支援学級の在籍児童・生徒の推移は</p> <p>②通級指導や特別支援学級の支援体制は十分か。現在の課題と今後の改善策はあるのか</p> <p>③特別支援教育に携わる教員の専門性向上のための研修や人的配置は適正に行われているか</p> <p>④近年の児童・生徒の特別支援教育のニーズに対応するため、新たな特別支援学級の設置や既存学級の再編を検討する考えはあるか</p> <p>⑤通常学級と特別支援学級の児童・生徒がともに学ぶ「インクルーシブ教育」をどのように進めていく考えか</p> <p>2) 町の今後について</p> <p>①不登校や特別支援が必要な児童・生徒への支援を今後どのように発展させていくのか</p> <p>②「学区のない学校」や「フリースクールとの連携」を町の教育施策として検討する考えはあるか</p> <p>③県や国の支援制度を活用しながら、町独自の教育支援を強化する考えはあるか</p>	<p>町長 教育長 教育センター</p>
6	本名 洋	<p>1 上富小学校の統合について</p>	<p>1) 統合へ向けた計画策定はいつか</p> <p>2) 住民合意はどのように図るのか</p> <p>3) 児童の意見聴取はどのように行うかについて</p> <p>①上富小学校</p> <p>②三芳小学校</p> <p>4) 公共施設マネジメント基本計画を実行していくのか（学校教育施設について）</p>	<p>学校教育課</p>

		2 女性支援新法について	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 困難な問題を抱える女性支援基本計画の策定は</li> <li>2) SNSなどを活用した女性支援に繋げるアウトリーチは</li> <li>3) 死産・流産を経験した人のグリーフケアの体制は進んだか</li> <li>4) 中絶後ケアの体制は</li> <li>5) 女性支援に繋げる居場所の提供は</li> <li>6) 女性相談支援員の配置は</li> </ul>	町長 総務課  こども支援課  総務課
		3 職員体制について	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 会計年度任用職員について <ul style="list-style-type: none"> <li>①再任用回数の制限は</li> <li>②現職も公募試験を行うのか</li> <li>③育児休暇の取得状況は</li> <li>④生理休暇の取得状況は</li> </ul> </li> <li>2) なぜ公務員が敬遠されたり、若手が退職したりするのか</li> <li>3) 長期休職する職員の年代は若手が多いという統計があるが当町では</li> <li>4) 異動のメリット・デメリットは</li> <li>5) 専門的知識が十分活用されているか</li> <li>6) 経験や技術、知識が確実に継承されているか</li> <li>7) 正規職員の削減が町民の安心安全に影響を与えていないか</li> </ul>	町長 総務課      町長
7	林 善美	1 生活機能の維持・向上について	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) ロコモティブシンドロームの認識について <ul style="list-style-type: none"> <li>①40代ごろからの予防が重要とされているか町の認識は</li> <li>②ロコモティブシンドロームの予防を目的とした事業はあるか</li> <li>③ロコモ度テストの開催を検討してはどうか</li> <li>④埼玉県地域保健医療計画にはロコモティブシンドロームの認知度の向上があげられている。県との連携はどのようなことが考えられるか</li> </ul> </li> <li>2) フィットネス事業について <ul style="list-style-type: none"> <li>①三芳町総合体育館フィットネスルームの利用状況は</li> <li>②新しいトレーニング器具の導入や入替の要望はあるか</li> </ul> </li> </ul>	健康増進課      文化・スポーツ推進課

		2 言葉の壁を乗り越える取り組みについて	③トレーニング器具入替の判断基準は ④現在の器具の使用年数は ⑤新しいトレーニング器具の導入は検討されているか ⑥利用年齢の拡大について検討はされているか 3) 力や運動器の低下による移動機能の低下が懸念されていることから、早期の予防対策としてフィットネスルームを使った講座の開催を検討してはどうか 4) ロコモティブシンドロームについて予防啓発を行っていく考えはあるか 1) 外国人児童生徒数は 2) 日本語の理解が困難な児童生徒はいるか 3) 日本語の理解が困難な児童生徒がいる場合、どのような対応をされているか 4) 日本語の理解が困難な保護者へはどのような対応をされているか 5) 携帯翻訳機の導入を検討してはどうか 6) 言葉の壁を乗り越える取り組みはどのようなことが考えられるか	町長 健康増進課  教育センター  教育長
8	吉村美津子	1 学校の統廃合はやめることについて	1) 学校再編等審議会への諮問と答申 ①小規模校の良さをどう捉えているか ②小規模校を解消することとして「学習活動上や発達上の諸課題に応じたクラス替えが可能となる」等が、利点として捉えられているが、どのような意味か ③上富小学校については小規模校のデメリットが記載されているがメリットも重要視すべきでは ④竹間沢小学校と唐沢小学校を統合することは保留とあるが、今後の検討はどのように行っていくのか ⑤各中学校の再編について検討とあるが、審議会の案の詳細は ⑥通学への配慮は ⑦心のケアは ⑧放課後への配慮は ⑨跡地の利用は ⑩答申に対しての反対意見はどのようなものがあったのか	町長 教育長 学校教育課

		2 竹間沢通西地区土地区画整理事業について	<p>2) 学校統廃合の教育委員会のスケジュールは</p> <p>3) 上富小学校をなぜ廃校とするのか、理由は</p> <p>4) 児童の声をどのように聞いているか</p> <p>5) 上富小学校の存続をどう捉えるか</p> <p>1) 業務代行予定者の募集の仕方は</p> <p>2) 都市計画課での事務局はいつまでだったのか</p> <p>3) 応募が1社のみだったがどう捉えるか</p> <p>4) 2業者は地権者宅を訪問しているが、訪問内容を町も把握すべきでは</p> <p>5) 農地を残して、農業を継続したい方は、およそ何名いるのか</p> <p>6) 近隣住民の声をどのように聞いているか</p> <p>7) 2業者の今後の予定を町は把握しているか</p>	町長 都市計画課
9	増田 磨美	<p>1 藤久保地域拠点施設整備等事業について</p> <p>2 支援が必要な子どもたちについて</p>	<p>1) 現在の進捗状況は</p> <p>2) 令和7年度も藤久保小学校児童は、授業や休み時間に校庭代替地、体育館を利用するが暑さ対策は進んでいるか</p> <p>3) 今後、窓を開けて授業を行う季節になるが、振動、騒音、換気などはどのように対応していくのか</p> <p>4) 代替地への移動時の見守り体制・安全対策に変化は</p> <p>5) 小学校・複合公共施設ともに本体工事が始まったが期間中の騒音、振動等で児童や保護者、近隣などから意見があったか</p> <p>6) 藤久保小学校保護者への説明会の予定は</p> <p>7) 今後の近隣住民や町民への説明会予定は</p> <p>8) 校庭代替地利用での、春・夏を過ごすための準備は</p> <p>9) 12月議会で学校を含む藤久保地域拠点施設のような大掛かりな工事の場合に児童がストレスを抱えないよう、相談や意見など吸い上げる工夫を検討すると答弁があったが進捗は</p> <p>1) 物価の高騰は、子どもたちの生活や学校生活に影響を与えていると考えるか</p> <p>2) 新中学1年生になる生徒が学校からの連絡で購入するよう求められている品目は</p>	<p>町長 施設マネジメント課 学校教育課</p> <p>施設マネジメント課 学校教育課</p> <p>町長 学校教育課</p>

			<p>3) その金額は</p> <p>4) 就学援助の入学準備金では制服の購入には足りないがどう考えるか</p> <p>5) 制服など入学準備品についての相談は</p> <p>6) 子どもの貧困対策推進計画の内容はどのように進められているのか</p> <p>7) 今後、物価高騰などで支援を必要とする子どもたちの中で「見えにくい」子どもたちへの支援をどのように行っていくか</p>	<p>こども支援課</p> <p>町長 学校教育課</p>
		<p>3 (仮称) 地域活性化発信交流拠点基本計画について</p>	<p>1) 町の考えるコンセプトは何か</p> <p>2) 11月19日全員協議会での説明後、(仮称) 地域活性化発信交流拠点基本計画の内容が変更された。大きな変更点としていくつかあげられるが体験農園がなくなったのはなぜか</p> <p>3) 雑木林の面積を減らしたのはなぜか</p> <p>4) 防災道の駅としての施設や設備を考えるのか</p> <p>5) 第5回(仮称) 地域活性化発信交流拠点基本計画策定検討委員会の予定はスケジュールだと1月末とあるが開かれたのか</p> <p>6) パブリックコメントの予定は</p> <p>7) 概算が出ていたが土地購入費は含まれているか</p> <p>8) 資金調達に関して財源確保の詳細は</p> <p>9) 補助金の試算は</p> <p>10) クラウドファンディングはどのような形をとるのか</p> <p>11) 現段階では住民の声をどのような方法で聴いているか</p> <p>12) 大規模な財政出動となるが地域住民や町民への説明会はいつどのように行うのか</p>	<p>町長 総合調整幹</p>
10	光下 重之	<p>1 令和7年度実証実験を目指した検討案(町内循環ワゴン停留所案)及び体制について</p>	<p>1) 運行ルート設定の考え方について</p> <p>①行政連絡区単位でいうと、試行運転の段階から「運行しないエリア」があるのは問題ではないか</p> <p>②ライフバスと同一路線を走り、停留所がない区間をつくるのはもったいないのではないか</p>	<p>町長 政策推進室</p>

		2 第3四半期の補正予算の編成のあり方等について	<p>③停留所設置のための条件として「乗降するまでの乗降施設として快適に待てるか」とあるが、厳しすぎるのではないか</p> <p>④幅員5m以下のルートの設定について、道路管理者である町長の判断でできないか</p> <p>⑤「車両制限令」の適用について、特例的に運用できないか</p> <p>2) 藤久保をはじめ北永井、上富、竹間沢など多くの地域でルート拡大、変更の余地があるのではないか</p> <p>3) 兼務でなく、最低3人の専門部局が必要ではないか</p> <p>1) 毎年度の第3四半期に提出される補正予算は、毎年90%前後が基金積立になっているが、もっと住民要求を実現する姿勢が必要ではないか</p> <p>2) 令和6年度予算執行方針「5 予算の補正について」のなかで、「通年予算」という言葉が、各課の予算要求の足枷(かせ)になっていないか</p> <p>3) 年度末に近いと、各課は予算要求しにくいということはないか</p> <p>4) 町長が政策的経費の計上を積極的に行うべきではないか</p> <p>5) 会計年度終了から第3四半期までの行財政の動きはどうなっているか</p> <p>6) そのうち、監査委員による決算審査の中で、財務監査、決算審査、出納検査、指定金融機関等の監査、職員の現金・物品等の損害事実の有無の監査など、制度の仕組み通りにできているか</p> <p>7) 監査委員の機能の充実、外部監査機能の積極的な活用がいわれて久しいが、どのように考えてきたか</p> <p>8) 監査事務局が総務課の兼務となっているが、独立した監査事務局体制の構築が必要ではないか</p>	町長
				町長 財政デジタル推進課
				総務課
1 1	牛丸 藍子	1 貧困の連鎖を無くす取り組みについて	<p>1) 相対的貧困について</p> <p>①相対的貧困について町の認識は</p> <p>②相対的貧困を解消するためにどのよう</p>	町長 教育長 福祉課

			<p>な施策を講じているか</p> <p>③今後新しい取り組みの検討は</p> <p>2) 滞納から支援に繋げる取り組みについて</p> <p>①当町における町税の滞納率は</p> <p>②滞納により制限がかかる住民サービスはあるか</p> <p>③過去3年における納税相談の利用者数は</p> <p>④過去3年における給水停止に至った水道料金の滞納件数は</p> <p>⑤水道は生活に不可欠なライフラインであるため、滞納者の困窮度は深刻なものと推測されるが、滞納者と接触するにあたって留意している点はあるか</p> <p>3) 児童生徒の貧困とネグレクトについて</p> <p>①児童生徒が食事を十分にとれていない事例や、食生活の課題がある児童生徒を把握しているか</p> <p>②過去3年間の朝食と夕食の欠食率は</p> <p>③健康診断で極端に成長が見られない・著しい体重減少など気になる所見が見られる場合は、何かアクションをとる事はあるか</p> <p>④栄養教諭は食育の他、児童生徒・保護者の個別相談に対応しているか</p> <p>⑤貧困状態にある児童生徒の栄養に関して、栄養教諭の見解は</p> <p>⑥スナックタイム導入の検討の可能性について町の考えは</p> <p>⑦医療ネグレクトについて学校では実態を把握しているか</p> <p>⑧該当する事例があった時はどのように対処しているか</p> <p>⑨子どもが受診を希望しているが保護者の同意が得られない場合、子どもの意思決定を尊重するため町としてできる事はあるか</p> <p>4) 中学卒業後の子どもに対する支援</p> <p>①中学卒業後の子どもへの支援に対する町の考えは</p> <p>②主軸となる担当課はどこか</p> <p>③中学校卒業後の就労先からの離職者や高校中退者のリスタートのための支援</p>	<p>税務課</p> <p>上下水道課</p> <p>教育センター</p> <p>学校教育課</p> <p>教育センター</p> <p>学校教育課</p>
--	--	--	--	---

			<p>体制は</p> <p>④町として窓口設置の検討は</p> <p>⑤ヤングケアラーの実態把握や施策について今後の取り組みは</p>	こども支援課
1 2	久保 健二	<p>1 新たに考える公共交通事業について</p> <p>2 道路認定について</p> <p>3 インフラの老朽化について</p> <p>4 竹間沢通西地区土地区画整理事業について</p>	<p>1) 新しい公共交通事業の計画を策定するにあたりどのような企業(何社)、事業者の意見を聞き計画を立てたのか</p> <p>2) 町が考えている計画に対し企業からの意見は</p> <p>3) 町の考える新しい公共交通とは(計画を含む)</p> <p>4) 既存の公共交通への補助等は</p> <p>1) 道路認定の基準は</p> <p>2) 行き止まりや特定の場所、特定の人のみ通行する道路線で認定が下りている路線は何箇所あるのか</p> <p>3) 行き止まり、袋小路の路線で採納できる道路、出来ない道路の線引きは</p> <p>1) 水道管、下水道管の使用年数は(1番古い管)</p> <p>2) 毎年、点検予算が組まれているか町で実施している点検とは</p> <p>3) 道路の陥没、空洞化等の点検は</p> <p>4) 今後の点検方法の見直しを含めた、事故を未然に防ぐ老朽化対策は</p> <p>5) 道路工事、整備に合わせ、水道管や下水道管、他の埋設物等の修繕する計画を立てることは出来ないか</p> <p>6) 現状の点検、現状の既存の状態で大丈夫なのか(路面・管等)</p> <p>1) 準備委員会、業務代行業者等が決定し土地区画整理組合の立上げ、完了に向け進められていると思うか進捗状況は</p> <p>2) 施工規程、事業計画等、県、国への訪問、交渉状況は</p> <p>3) 通西地権者の状況は</p> <p>4) 土地区画整理事業に対する方向性は</p> <p>5) 今後の事業の流れは</p>	<p>町長 政策推進室</p> <p>町長 道路交通課</p> <p>町長 上下水道課</p> <p>道路交通課 上下水道課 上下水道課</p> <p>町長 都市計画課</p>

